※令和３年度以前入学生用

学校番号	1005

令和５年度　芸術科（音楽）

教科	音楽	科目	器楽	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	バイエルピアノ教本　ソナチネアルバム　ソナタアルバム他						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

ピアノの演奏に関する知識や技術を習得して、音楽性豊かな表現ができるようになりましょう。

2　学習の到達目標

器楽に関する学習を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、専門的な音楽に関する資質・能力を身に付ける。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:音楽への関心・意欲・態度	b:音楽表現の創意工夫	c:音楽表現の技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	音楽文化を尊重し、主体的･創造的に、音楽性豊かな表現を追求する態度をもっている。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、音楽表現を工夫し、表現意図をもっている。	創意工夫を生かし、創造的に表現するために必要な技能を身に付け、創造的に表している。	音楽に対する理解と楽曲の表現内容について理解を深め、よさや美しさを創造的に味わっている。
評価方法	観察	観察 実技テスト	観察 実技テスト	観察 実技テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

※令和３年度以前入学生用

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	演奏の基本技術を身に付ける	生徒個々の実力に応じて課題を設定 バイエルピアノ教本 ソナチネアルバム ソナタアルバム ショパンエチュード　他	○	○	○	○	a:ピアノの基礎的な奏法の特徴に関心をもち、ピアノを演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。 b:音色やリズムなど音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受し、どのように演奏するかについて表現意図をもっている。 c:ピアノの音色や奏法の特徴を生かした技能を身に付け、創造的に表している d:　音楽を形づくっている要素とそれらの働きが生み出す特質や雰囲気を理解しながら、作曲者による表現の特徴を理解し、楽曲の文化的・歴史的背景への理解を深め、よさや美しさを創造的に味わっている。	観察 演奏の聴取 発表
2学期	表現意図を持って表現する	バロックの音楽 古典派の音楽 ロマン派の音楽 近現代音楽　から生徒に合った曲を選曲 個人個人で演奏してみたい曲を選曲	○	○	○	○	a ピアノの音色や奏法の特徴に関心をもち、それらを生かして演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。 b:　音色やリズムなど音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受し、どのように演奏するかについて、表現意図をもっている。 c:　ピアノの音色や奏法の特徴を生かし、個性豊かに音楽表現するための技能を身に付け、創造的に表している。 d:　音楽を形づくっている要素とそれらの働きが生み出す特質や雰囲気を理解しながら、作曲者による表現の特徴を理解し、楽曲の文化的・歴史的背景への理解を深め、よさや美しさを創造的に味わっている。	観察 演奏の聴取 発表
3学期	創意工夫を生かして表現する	4手による連弾 他	○	○	○	○	a ピアノの音色や奏法の特徴に関心をもち、それらを生かして演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。 b:　音色やリズムなど音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受し、どのように演奏するかについて、表現意図をもっている。 c:　ピアノの音色や奏法の特徴を生かし、個性豊かに音楽表現するための技能を身に付け、創造的に表している。 d:　音楽を形づくっている要素とそれらの働きが生み出す特質や雰囲気を理解しながら、作曲者による表現の特徴を理解し、楽曲の文化的・歴史的背景への理解を深め、よさや美しさを創造的に味わっている。	観察 演奏の聴取 発表

※　表中の観点について　a:音楽への関心・意欲・態度　　b:音楽表現の創意工夫
c:音楽表現の技能　　d:鑑賞の能力

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。